

肺炎球菌ワクチン定期化で 開業小児科外来の中耳炎はかわったか



つちだ小児科 土田 晋也
第34回近畿外来小児科学研究会
2018年11月23日 大阪医科大学 看護学部講堂

背景

- 2013年に肺炎球菌ワクチン(PCV)が定期予防接種化され今年で5年になる
- PCVは小児急性中耳炎の予防や軽症化に有効であると報告されている

Otsuka T et al. PLoS One 8: 68711, 2013

Sugino H et al. PLoS One 10: e0137546, 2015

豊福ら 小児感染免疫 27: 265-270, 2015

Cochrane Review 2: CD001480, 2014健康小児に対しては予防効果あり

- **開業小児科からの報告はまだない**

目的

PCV定期予防接種化で開業小児科の中耳炎はかわったか(減少、あるいは軽症化したか)

対象と方法

調査期間：

- ☆定期化前 2009年3月～9月 当院受診15才未満**気道感染症**患児140名
小児中耳炎調査グループ、土田晋也：日児誌 118、779～783、2014
- ☆定期化後 2018年9月、10月 当院受診15才未満**気道感染症**患児193名
(ともに、インフルエンザ、RSウイルス非流行時を選んだ)

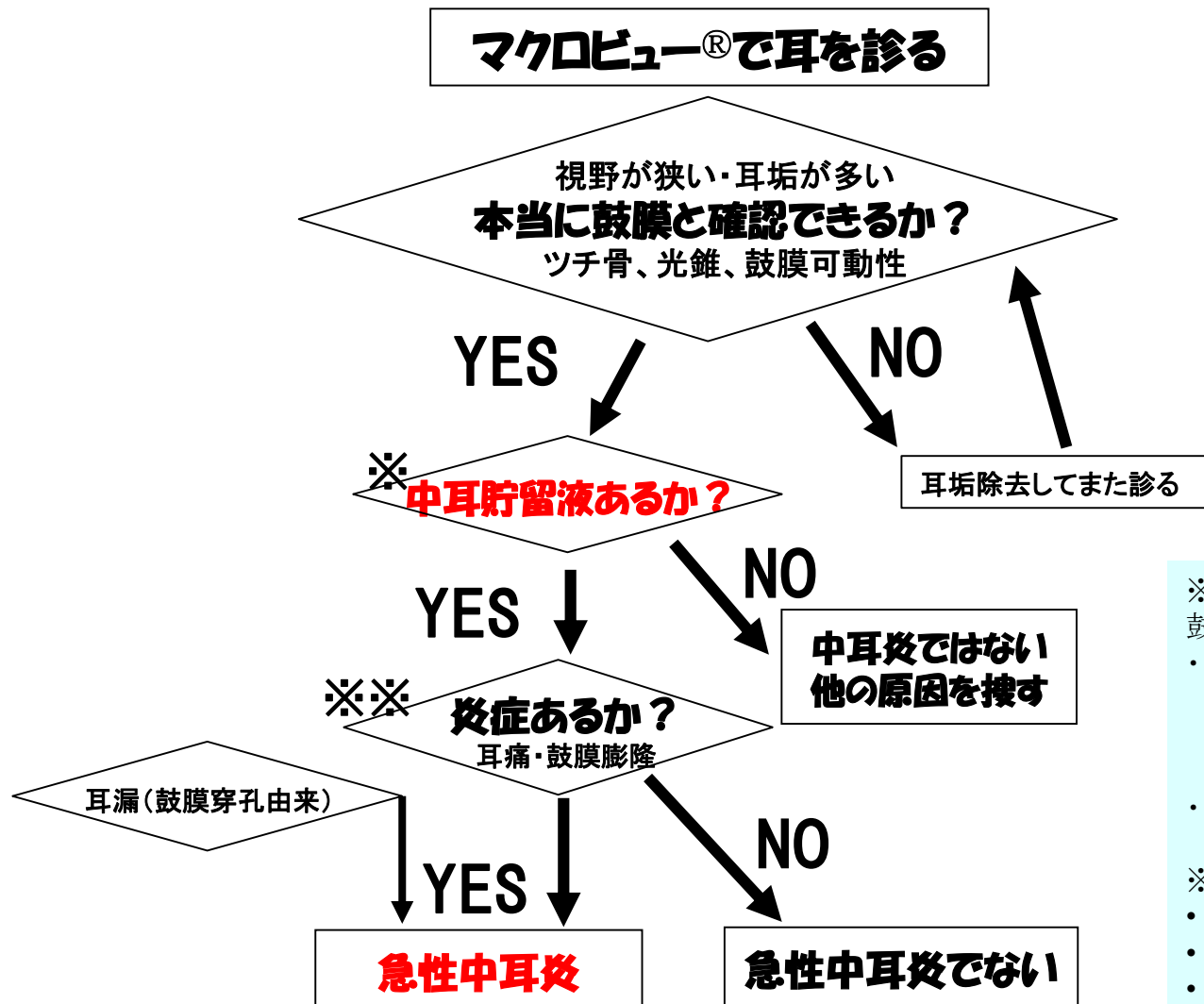
気道感染症：

発熱(37.5℃以上)、咳、鼻汁、咽頭痛、耳痛の5症状のうち1つ以上認める場合。但し、熱があっても胃腸炎や皮膚疾患など、上気道カタル症状を伴わない場合は対象外とした。

患児抽出方法：

月(週)に1日、当院を受診した気道感染症患者20～30名を連続調査

中耳貯留液・急性中耳炎診断



※ 中耳貯留液あるか？
鼓膜、または鼓膜背面の所見：

- ・ 鼓膜(2項目以上で該当)：
色：白、黄、琥珀、青
混濁(癍痕ではない)
可動性低下
- ・ 鼓膜背面：水泡・液面

※※ 炎症あるか？

- ・ 鼓膜に痛そうな強い発赤
- ・ 鼓膜全体の膨隆
- ・ 中耳由来の耳痛、耳痛徴候
- ・ (個人的には血液検査CRP3.0
以上も参考にして)

結果

	2009	2018
	n=140	n=193
中耳貯留液, %	20.7	16.3
急性中耳炎, %	6.4	4.7
実数の比較	6.4	× 0.6=2.8

急性中耳炎危険因子の比較:

PCV接種, %	なし	接種済
年齢, 才	3.4	3.6
性別(男), %	66	56
集団生活(あり), %	66	83
同胞(あり), %	74	73
最高体温, °C	37.9	37.8

まとめ

- PCV定期予防接種後に当院の気道感染症患児の
 - ①中耳貯留液率 やや減少
 - ②急性中耳炎率 ほぼ同じ
 - ③急性中耳炎実数は半減
- 気道感染患者数の減少のため急性中耳炎が半減したがPCV定期予防接種後も罹患率はほぼ同じ。
- 開業小児科医にとって急性中耳炎は依然として見逃していけない疾患である。